

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

宗教法人カトリック福岡司教区 八幡カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の愛の精神に基づき、幼児一人ひとりがかけがえない存在として人格を尊重し、モンテッソーリ教育によりあらゆる活動を通して自主自立を養い、円満で調和のとれた人格形成を援助する。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

◇年間目標「みんなちがってみんないい」

①友だちを知る。

◦会話や遊びの中で仲良くなっていく。

②お互いを受けとめる。

◦友だちとの関わりを通して、色々な違いがあることを知る。

◦自分や周りの人の良いところを見つけていく。

③互いに認め合う。

◦自分の思いを言葉で伝える。

◦相手の気持ちを考えながら力を合わせて行動していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
互いに認め合う	A	縦割保育を通して互いの違いを理解し、思いやりの心を育てながら互いに認め合うことができた。
保育の在り方	B	「子どもを尊重する保育」のために「人権擁護のためのセルフチェック」を行ない、保育の振り返りを行なった。
特別支援教育	A	研修に参加し、気になる子に対して療育センター等支援施設と連絡を取り合い連携支援に努めた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	モンテッソーリ教育を通して、幼児一人ひとりを尊重し、自主・自立のための援助を行ない、子ども自身の自己肯定感を高めるよう努めることができた。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
安全危機管理	地震などの災害に対する備えや、園バスの降車確認等の園における安全危機管理。
幼少連携	コロナ禍で途絶えていた小学校との連携を密に取り組む。
保護者への対応	ホームページや連絡帳を通して日頃の子どもの様子を伝え、家庭と幼稚園の連携を密にする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

◦キリスト教の精神やモンテッソーリ教育を通じて、思いやりの心や互いに認め合う心が育ち、また、自分自身で目標を決めてやり遂げる力がつくような保育がされている。

保護者アンケートや保育参観、勉強会、クラス懇談会などを通じて、幼稚園の方針や園児の様子を伝えるような努力が感じられる。

外部に対して、幼稚園の取り組みや理念、特徴などを含め、幼稚園の魅力をもっと発信してほしい。

委員会実施日

令和6年3月13日